

平成30年度事業報告並びに収支決算報告について

□ 平成30年度 明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会事業報告

(1) 会議

会議名	主な内容
第1回協議会 (平成30年6月7日)	1. 平成29年度事業報告ならびに収支決算報告について 2. 平成30年度事業計画(案)ならびに収支予算(案)について 3. 明知鉄道沿線地域公共交通網形成計画の策定について 4. 明知鉄道地域内フィーダー系統確保維持計画について 5. 明知鉄道生活交通改善事業計画について
第2回協議会 (平成30年7月10日)	1. 第2次明知鉄道沿線地域公共交通網形成計画の策定について
第3回協議会 (平成30年8月24日)	1. 第2次明知鉄道沿線地域公共交通網形成計画の方針について 2. アンケート調査の実施について
第4回協議会 (平成30年12月3日)	1. 第2次明知鉄道沿線地域公共交通網形成計画(案)について 2. 第2次明知鉄道沿線地域公共交通網形成計画(案)の意見の公募について
第5回協議会 (平成31年1月9日)	1. 第2次明知鉄道沿線地域公共交通網形成計画について 2. 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について 3. 平成31年度活動方針(案)について

(2) 主な事業

事業名	内 容 等
地域公共交通網形成計画	
第二次明知鉄道沿線地域公共交通網形成計画を策定(計画期間:令和元~5年度 協議会5回開催)	
1. 明知鉄道の基幹路線としての機能強化と新たな魅力の創出	
明知鉄道の「強靱化」	1. 老朽化対策事業 (1)車両全般検査(アケチ10号、13号) 2. 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業 (1)落石等防護設備、線路側溝新設(山岡—野志間) (2)マクラギ同種更換(山岡—明智間)
新たな収入源の確保策の検討	1. 日本郵便と明知鉄道による宅配貨物等輸送(貨客混載)の実施
2. 基幹路線とその支線となる交通機関との連携強化	
地域公共交通確保維持改善事業(フィーダー系統確保維持事業)の実施	1. 「地域内フィーダー系統確保維持計画」に基づく事業の実施 ・上矢作地区のバス路線の運行
フォローアップ調査	1. アンケート調査を行い網形成計画に定める達成目標を確認
鉄道との乗継を考慮したバス路線網の再編	1. 明知鉄道と上矢作線の連携強化に向けた改善と利用促進 ・中学3年生に対しての啓発(上矢作中14人に2回実施)

	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査を行い改善につなげる（毎年12月実施） 調査結果：13路線、90人、満足度88.9% ・バス車両更新の機会を活用した乗り方教室の開催（12月に上矢作こども園、上矢作中学校、上矢作振興事務所で開催） ・上矢作線にて観光に適した1ルートと新規バス停3ヵ所を設置 観光ルート実績：岩村駅→歴史資料館 土日に1日2本追加 10～3月利用者131人／181人（72.38%）
3. 公共交通を未来に「つなぐ」ための地域住民との連携強化	
各地区交通検討会の開催	1. 地域検討会の開催（岩村町4回・山岡町7回・串原1回）
利用促進活動（モビリティマネジメント）の実施	1. 3Kサポート ①高齢者 ②高校生（学生） ③観光客 ①：公共交通利用促進の呼びかけ（壮健クラブ等14回開催 712人） ①：孫とおでかけふれあい列車の運行（夏休み他87日間 776人） ①：バスおでかけマップ作成（3,000部） ①：バスの乗り方DVDを作成 ②：高校生ミーティング開催（市内4校） ②：夏休み割引きっぷによる支援（小中学生462人） ③：明知鉄道主要駅のホームにバスルート案内看板設置（恵那駅、阿木駅、岩村駅、山岡駅、明智駅） 共通：CATVで公共交通の利用促進番組を放映（1月の市政放送） 共通：広報誌で公共交通特集を掲載（広報えな10月号） 共通：駅沿線バス時刻路線マップを作成（4・10月発行、各6,000部）
4. 公共交通とまちづくり・観光振興との連携強化	
観光列車の運行・各種イベントの開催	1. 四季に応じた料理列車の運行 寒天列車2,409名、きのこ列車4,999名、じねんじょ列車2,146名、おばあちゃんのお弁当列車（花見、山菜）629名、枳酒列車378名 2. 観光列車の運行・各種イベントの開催 ・ウォーキング大会の開催（野志駅～山岡駅 75人） 3. SL乗車等体験の充実 ・SLファンクラブ限定イベントを一般向けに拡大 4. NHK連続ドラマ「半分、青い。」を活かした列車を運行 ・ラッピング列車の運行（4～9月 定期外利用前年比1.2倍）
観光マップやポスターの作成	1. バスおでかけマップ作成（3,000部） 2. ポスター、チラシ作成（SLポスター100部、SLチラシ5,000部、グルメチラシ21,000部）
5. 地域公共交通運営組織間の連携強化	
地域公共交通会議	1. 地域路線の検討（岩村、山岡地域でデマンド交通を開始） 2. バス路線変更の検討・承認（岩村歴史資料館経由便の開始、串原地域内の路線見直しと空白地有償運送の開始）
明知鉄道連絡協議会 リニアまちづくり明知鉄道沿線住民委員会	1. 明智駅構内走行のSL乗車等体験の実施（乗車体験6回、運転体験4回） 2. 山岡駅イルミネーションの開催（冬期） 3. 市民駅として岩村駅の窓口業務を行う（平成29年度からの継続事業）

□平成30年度 明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会収支決算

【収入の部】

(単位：円)

款	項	目	予算額	決算額	比較 (決算額－予算額)	説明
1 負担金	1 負担金	1 負担金	5,203,000	5,203,000	0	恵那市
2 補助金	1 補助金	1 補助金	0	0	0	国
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	2,077,966	2,077,966	0	前年度繰越
4 諸収入	1 諸収入	1 雑入	34	45	11	預金利子
合 計			7,281,000	7,281,011	11	

【支出の部】

(単位：円)

款	項	目	予算額	決算額	比較 (決算額－予算額)	説明
1 運営費	1 会議費	1 会議費	50,000	149,100	99,100	協議会委員報酬 (5回開催分)
	2 事務費	1 事務費	50,000	12,346	▲37,654	振込手数料 8,316 印紙代 2,200 切手代 1,830
2 事業費	1 事業費	1 事業費	7,081,000	6,091,494	▲989,506	・ 利用促進事業 (バス 乗り案内 DVD 作 成、おでかけマップ 作 成等) 305,988 ・ バス時刻路線マップ 1,038,420 ・ フォロ-アップ 調査事業 409,320 ・ ホ-スターラン作成経費 394,686 ・ 第二次計画作成経費 3,943,080
3 予備費	1 予備費	1 予備費	100,000	0	▲100,000	
合 計			7,281,000	6,252,940	▲1,028,060	

(収入合計額) - (支出合計額) = (次年度繰越額)
 7,281,011円 - 6,252,940円 = 1,028,071円
 上記金額を令和元年度へ繰り越いたします。

【監査報告】

明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会の平成30年度事業実績並びに予算執行状況について監査を実施したところ、適正に執行されていたことを認めます。

令和元年5月15日

監 事

中津川市会計管理者

青 山 弘 司

恵那市会計管理者

原 田 一 宏

※監事のサイン・印鑑については、個人情報保護のため、掲載いたしません。が、
原本は事務局にて保管してあります。